

# ASK ニュース

Vol.0253

2017年5月22日(月)

担当：MS事業部 中嶋

**ASKコンサルティング株式会社**

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

<http://www.ask-consult.co.jp/>

## 欲求段階説

### はじめに

人には欲求があり、それが行動の原動力になります。しかし、人それぞれ様々な欲求を持っているため、相手がどのように感じているか理解するのが難しくなっています。今回は、欲求について考えるために、マズローの欲求段階説をご紹介します。

### 欲求段階説

アメリカの心理学者のアブラハム・マズローは、人間の欲求を段階的なピラミッドに見立て、低階層の欲求が満たされると、次の階層の欲求を欲すると考えました。これを欲求段階説といいます。欲求の段階を低階層から順にまとめていきます。

#### ① 生理的欲求

人間が生きていくために最低限必要な欲求です。例えば、食欲や睡眠欲などの生死にもかかわる欲求です。

#### ② 安全欲求

安心で安全な暮らしがしたいなどの欲求です。生理的欲求とあわせて、生きる上での基本的な欲求の一つです。暴力などにより生存を脅かされていると、その危険を回避し安全を確保することに必死になり、他のことを考えにくくなるというものです。

#### ③ 社会的欲求

会社、家族、国家など、あるグループへ帰属していたいという欲求で、生存を脅かされない状態になって出てきます。また、基本的欲求の次にこの欲求がくるということは、帰属欲求がそれだけ基本的なものであることを示しています。

#### ④ 自我欲求

自分は価値のある人間だと認められたいという他者からの尊敬を求める欲求と、自分自身が成長することで自信・自尊心・達成感を得たいという自己尊重の欲求です。

#### ⑤ 自己実現欲求

あるべき自分になりたいという欲求で、自分の能力を引き出し創造的活動がしたいなどの欲求です。無償性が含まれているのが特徴で、あくまで自己実現を求めているので、「人から賞賛されたい」という気持ちがあるのであれば、自我欲求となります。

### おわりに

社員教育を行うにあたり、このマズローの欲求段階説を取り入れてはいかがでしょうか。社員がどの段階か見極めて、仕事に対して適切な評価をする等、欲求を満たす仕組みを作っていくことで、社員のやる気を向上させ、成長させることができると思います。